

和歌山信愛高等学校



学校紹介

対象学科名	対象とする生徒数				学校全体の規模
	1年	2年	3年	計	
高等部普通科	231	263	248	742	全日制普通科の女子校。1学年は8学級。医進・特進・学際（スポーツクラスを含む）の3コース制。中・高で1043名。年次進行で高等部の全生徒を本事業の対象とする。
(中学部)	104	100	97	301	

カトリックを土台とする宗教教育



真面目で誠実
思いやりの心
礼儀正しい

進学校化

二人三脚の指導によって
進学実績の飛躍的な向上



1997年（22年前）
国公立大学合格者：15名
（260名）



2017年
国公立大学合格者：91名
（265名）

しかし・・・

与えすぎる指導が生徒を内向きに



そこで・・・探究学習の導入



S G H へのチャレンジ



和歌山市が二月に策定したまちなか再生計画を活用した授業が六月十八日、和歌山市屋形町の和歌山信愛高校で行われた。街の将来を若い感性で考えてもらい、まちづくりに役立てるのが目的で、同校と市が企画した。市都市整備課の中野昌則さんは「こういう街であってほしいとの純粋な願いがたくさん出た。年末に発表会を開いて、高校生の豊かな感性から出たアイデアを共有し、今後に生かしたい」と喜んでいた。

二〇二二年に終了した中心市街地活性化基本計画を引き継ぐ形で作られた再生計画は、三〇年を目標に取り組みや方針を示している。今回は、高校生が街の未来を描き、自分たちの将来を考える機会につなげようと一年

生二百七十六人が半年間、月に一度ワークショップに取り組み。十八日の第一回は、住む「働く」「楽しむ」のグループに分かれアイデアを出し合った。観光の充実を考える生徒は「京の観光案内があっても良いのでは」、商店街の衰退のように寺社仏閣や抹茶、着物などジャンル別

高校生が描く街の未来

信愛 再生計画活用し授業

退を課題に感じる生徒は「アーケードを高くして、ガラスを入れ、開放感のあるデザインにできないか」と提案した。それぞれの意見を付せんに書いて模造紙に貼り、議論を

「駅前や商店街の衰退が問題だと思ひ、話したところ、みんなが共感してくれてうれしかった。」糸川沙百合さんは「みんなの意見を聞く中で街を良くしていこうという意欲がわいてきました」と笑顔を見せていた。大村寛之教諭は「身の周りの社会を見つめ、自らのできることや、やりたいことを考える機会になる。進路学習にもつながれば」と話していた。

和歌山のまちづくりにアイデアを出し合った

4年間のSGHアソシエイト校としての取り組みから 見えてきたこと

- ①本校の生徒は、自己の利益に拘泥せず、
他者の心に寄り添いながら奉仕・貢献できる
- ②和歌山県の課題の根底には「少子高齢化」
県内の高校卒業者の県外大学進学率が90%近く、
30年の長きに渡って連続全国第1位

研究開発構想名

和歌山発！

地域の未来を拓く鍵となる「Key Girl」育成プログラム

研究開発の概要

地域の未来のために主体的に行動できる女性を育成するため、リージョン・グローバル・キャリアをテーマとした課題探究型学習プログラムを開発し、コンソーシアム参加機関に所属する方々と協働しながら研究開発を実践する。



和歌山発！地域の未来を拓く鍵となる 「Key Girl」育成プログラム

「Key Girl」の資質

- ① 献身性
- ② 興味・関心
- ③ 確かな知識
- ④ 課題発見および設定力
- ⑤ 課題解決力
- ⑥ 表現・発信力
- ⑦ 主体性
- ⑧ 多様性受容力

3
年
生

【キャリア探究】

「奉仕・貢献」「リージョン」「グローバル」の3要素を絡め合わせて、自らの「ミッション」をみつけ、主体的に未来を切り拓いていく姿勢を育成

＜探究テーマ＞
「社会課題の解決に貢献する
自己キャリアの探究」

オリエンテーション
有識者による講演
自己理解のための
ワークショップ
キャリアプランニング
学年発表会



2
年
生

【グローバル探究】

世界に目を向け、世界を学び、グローバルな視野を持って地域にフィードバックする力を育成

＜探究テーマ＞
「世界の抱える課題」
教育 福祉 女性 環境



オリエンテーション
課題設定
国内フィールドワーク(選抜式)
成果発表会

有識者による講演
修学旅行インタビュー
ポスターセッション



カンボジア研修

- ・現地の子どもたちへの教育支援活動
- ・現地の高校生とディスカッション
- ・現地で働く日本人を訪問

1
年
生

【リージョン探究】

社会課題に対する当事者意識と地域の未来への責任感を醸成

＜探究テーマ＞
「地域の抱える課題」
地域経済 地域医療
地域行政 地域産業
地域農業 地域林業

基礎講座
課題選択
フィールドワーク
ポスターセッション
成果発表会



自己研鑽
自己犠牲と奉仕
自己肯定

【和歌山信愛のカトリック教育】

【和歌山県の現状】

- ・18歳人口の流出による人口減少
- ・超高齢化社会
(2060年には現役一人が
老人一人を支える)
- ・地域産業の衰退

【「ミニ探究」授業開発】

- ・各教科における探究の手法の開発
- ・本事業との効果的な関わりをふまえたカリキュラムマネジメント

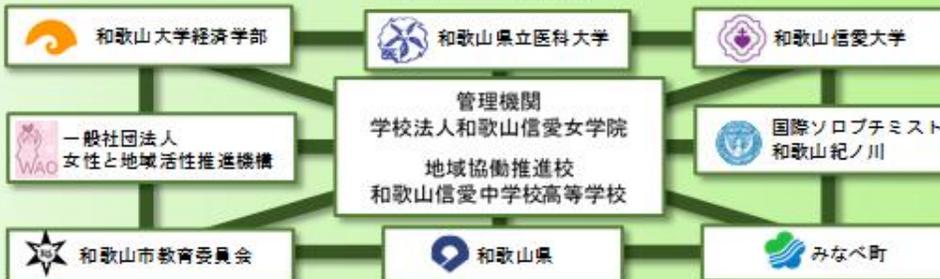
【英語運用能力向上プロジェクト】

- ・英語で学ぶ授業開発
- ・アジア高校生架け橋プロジェクト
- ・海外語学研修
- ・Advanced Communication Program
- ・オンライン英会話

海外交流アドバイザー

地域協働学習実施支援員

【コンソーシアム】



探究活動について

3年生

【キャリア探究】

「奉仕・貢献」「リージョン」「グローバル」の3要素を絡め合わせて、自らの「ミッション」をみつけ、主体的に未来を切り拓いていく姿勢を育成

＜探究テーマ＞
「社会課題の解決に貢献する
自己キャリアの探究」

オリエンテーション
有識者による講演
自己理解のための
ワークショップ
キャリアプランニング
学年発表会



2年生

【グローバル探究】

世界に目を向け、世界を学び、グローバルな視野を持って地域にフィードバックする力を育成

＜探究テーマ＞
「世界の抱える課題」
教育 福祉 女性 環境



オリエンテーション
課題設定
国内フィールドワーク(選抜式)
成果発表会

有識者による講演
修学旅行インタビュー
ポスターセッション

カンボジア研修

- ・現地の子供たちへの教育支援活動
- ・現地の高校生とディスカッション
- ・現地で働く日本人を訪問



1年生

【リージョン探究】

社会課題に対する当事者意識と地域の未来への責任感を醸成

＜探究テーマ＞
「地域の抱える課題」
地域経済 地域医療
地域行政 地域産業
地域農業 地域林業

基礎講座
課題選択
フィールドワーク
ポスターセッション
成果発表会



海外交流アドバイザー

時間割上の工夫

「総合的な探究の時間」（1単位増、計2単位）
水曜の午後に2コマ100分を確保

+

各種発表会（公開形式）
フィールドワーク



LHRも確保しながら柔軟に運営

3
年
生

【キャリア探究】

「奉仕・貢献」「リージョン」「グローバル」の3要素を絡め合わせて、自らの「ミッション」をみつけ、主体的に未来を切り拓いていく姿勢を育成

＜探究テーマ＞
「社会課題の解決に貢献する
自己キャリアの探究」

オリエンテーション
有識者による講演
自己理解のための
ワークショップ
キャリアプランニング
学年発表会



2
年
生

【グローバル探究】

世界に目を向け、世界を学び、グローバルな視野を持って地域にフィードバックする力を育成

＜探究テーマ＞
「世界の抱える課題」
教育 福祉 女性 環境



オリエンテーション
課題設定
国内フィールドワーク(選抜式)
成果発表会

有識者による講演
修学旅行インタビュー
ポスターセッション

カンボジア研修

- ・ 現地の子どもたちへの教育支援活動
- ・ 現地の高校生とディスカッション
- ・ 現地で働く日本人を訪問



1
年
生

【リージョン探究】

社会課題に対する当事者意識と地域の未来への責任感を醸成

＜探究テーマ＞
「地域の抱える課題」
地域経済 地域医療
地域行政 地域産業
地域農業 地域林業

基礎講座
課題選択
フィールドワーク
ポスターセッション
成果発表会



海外交流アドバイザー

「リージョン探究」 (高1対象)

テーマは「医療」「経済」「産業」
「行政」「農業」「林業」の6つ



学年に所属する教員全員が
プログラムの運営を担当
(本事業の運営委員も4名配置)

探究活動と各教科の関わりについて

教員個人の裁量による授業開発



「ミニ探究」
「英語で学ぶ」授業開発



校内での成果の共有の仕方・評価方法

共有：学内ネットワークによる教務支援システム

評価：本学独自のルーブリックを作成

	姿勢		探究	コミュニケーション	
	献身性・主体性	興味関心	課題解決力	表現力・発信力（他者へ）	多様性受容力（他者から）
S	グループのリーダー的存在として自らの役割や責任を果たすだけでなく、活動を果すために貢献しようとする強い意志が感じられた。	地域の方々への危機意識からスタートした活動であるが、強い好奇心とともに深い探究が行われ、未来の地域のために貢献しようとする強い意志が感じられた。	充実した調査を通して得た資料やデータを踏まえ、十分な論拠とともに独自の解決策を展開することができた。	他者に対して様々な方法・手段を駆使して分かりやすく伝えることができた。意見の異なる相手を受け入れるなど相互理解から理解を得ることができた。	自らと考えや価値観が異なる人とも自分から積極的に交流し、自らにない価値観を受け入れるなど相互理解から理解を得ることができた。
A	グループの一員として自らの役割や責任を果たした経験から、将来地域の未来のために貢献したいという思いを抱くに至った。	地域の方々への危機意識からスタートした活動であるが、深い探究を行うと積極的に取り組んだことで、未来の地域への興味関心を持つようになった。	熱心な調査を通して得た資料やデータを解釈して、解決策を展開することができたが、ありふれたものにとどまっていた。	他者に対して常に分かりやすく伝えようとし、意見の異なる相手からも理解を得よう工夫することができた。	自らと考えや価値観の異なる人のことも尊重し、探究活動がより意義あるものとなるように協働することができた。
B	与えられた自らの役割は果たしたが常に受動的で、地域の未来のために貢献するという生き方に価値を見出すことができなかった。	地域の方々への危機意識からスタートであったため、積極的に探究活動に取り組むことができず、興味関心を広げることができなかった。	独自の解決策を展開しているが、調べた資料やデータ等を活用することができず、論拠に乏しいものとなってしまった。	他者に対して自らの思いを伝えようとする気持ちはあるものの、伝わらないものかしさから感情的になる場面が多く見られた。	自らと考えや価値観の異なる他者の存在に気付くことができなかった。自らの考えを押し通そうとする場面が多く見られた。
C	グループの一員としての役割も果たそうとせず常に消極的で、地域の未来のために貢献することへの価値を見出すことができなかった。	地域の方々への危機意識からスタートであったため、興味関心を持つ事柄を全く見出すことができなかった。	調べた資料やデータ等をただ列挙しただけにとどまっており、その調査も質・量ともに十分なものとは言えない。	そもそも他者に思いを伝えるようとする気持ちに乏しいが、執する、もしくは協力しあうことを放棄するなど協調性に欠けた。	自らと考えや価値観の異なる他者の存在を認めることができなかった。自らの考えに固執する、もしくは協力しあうことを放棄するなど協調性に欠けた。

海外研修について

訪問先…**カンボジア**

(カンポットと周辺各村々を中心に)

- ・リーダー研修として位置づけ
- ・教育支援活動を通して、
社会に貢献したいという献身性をさらに育成
- ・現地で活動する日本人の方々と交流し、
キャリアデザイン能力を育成



特徴的な取り組み

「グローバル探究」（高2対象）における
東京フィールドワーク

日時と宿泊先だけを設定

生徒が自分たちでフィールドワークを企画



支援の取組や管理方法・体制

海外研修費用を管理機関が一部負担

本事業の予算を確保

I C T環境の整備

教務支援システム・複数担任制の導入

教員採用における評価項目の変更

「和歌山信愛大学」との高大連携

本取組における課題

正直なところ課題は山積・・・

その中でも最も大きな課題は、

探究活動と各教科の取り組みとが

まだまだ乖離していること

探究活動

探究活動を通して
培った力で下支え



各教科で培った力を
活用

各教科の活動

を目指す

ご清聴ありがとうございました